

地域外の力を借りて 存続するコミュニティー

～特定非営利活動法人 おおいわ結の里～（大淀町）

地域存続のために

山あいにある吉野郡大淀町大岩地区は、地域の担い手不足が深刻な状態となっており、地域外の人を受け入れる「新たな仕組みづくり」として、2021年「特定非営利活動法人おおいわ結の里」を設立しました。同法人には大岩地区の住民の全員が参加するとともに、地域外で暮らす家族や親戚をはじめ都市住民が活動に参加し、里山の魅力を体験できる事業を行なながら地域内外の人々と交流を図り、次世代に地域文化の継承を行っています。

また、大淀町役場と連携し「大淀町農村の魅力づくりモデル事業」として農業塾を開催しています。



おおいわ結の里のみなさん

里山の魅力を次世代へ継承

同法人では里山を存続していくため、①地域の歴史や文化の継承活動②地域の魅力体験③大岩農産物直売所の運営④地域の健康支援⑤持続可能な地域のコミュニティづくり⑥古民家「おおいわ結の里」の活動⑦里山と人をつなぐ7つの事業を行っています。このうち次の3つの事業で、関係人口創出に関する取組を行っています。



大トンド焼き



農業塾開校式

①地域の歴史や文化の継承活動事業

奈良県指定史跡の石神古墳の草刈りや、伝統行事「大トンド焼き」※を地域外の都市住民、障がい者支援施設なども参加して実施し、文化継承に取り組んでいます。

※日本の冬に行われる伝統的な火祭りであり、大岩の大トンド焼きは1月14日の日没後に点火する。高さ3メートルで恵方にはしめ縄を飾り一年間の五穀豊穣や商売繁盛、無病息災、家内安全を祈る。

②地域の魅力体験事業

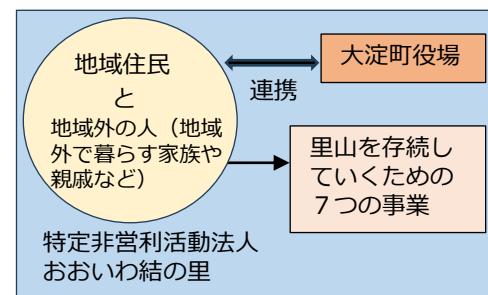
農業の楽しさや四季折々の里山の暮らしの魅力を感じられる取組として、少人数制の「農業塾」を開催するとともに、関わりづくりのため、じゃがいもや玉ねぎなどの収穫体験も開催しています。また、地場産農産物を使った加工体験（柿の葉寿司作り、つるし柿作りなど）を行い、里山生活を希望する都市住民を呼び込むとともに食文化・技術の伝承を行っています。

③大岩農産物直売所の運営事業

毎週日曜日（冬季休業）の午前中に小さな直売所を運営しており、地域内で採れた農産物を対面販売することで、地域外の人との交流を図っています。

都市住民との交流の場を広げていきたい

法人化した結果、地域外の人にも大岩地区の取組が見えるようになりました。現在、同法人で活動する正会員数は94名となり、この地域に住んでいる人口を上回っています。これらの取組は、人口が減少していく全国の中山間地域にとっても必要であると考えていることから、我々の活動を幅広く伝えたいと思っています。



【問合せ先】

特定非営利活動法人 おおいわ結の里
理事長 小西正久

<https://www.facebook.com/ohiwa.yuinatoso/> (外部サイトリンク)